



箱根の

シカ情報募集!

あなたも
野生動物の調査員!



全国的に
シカの増加が
問題になっています

環境省では、富士箱根伊豆国立公園の箱根地域において、シカの生息状況を調べて、森や湿原の希少な植物を守る活動に取り組んでいます。皆さまの貴重な「目撃情報」が大切なデータになります!ご協力ください。

シカを探してみよう!

毛の色



春～夏



秋～冬

つ

メスや0歳には、
角がありません。



オスには
角があります。
毎年、春先に
ぬけて、新しい
角がはえて
きます。



夏は明るい茶色に白色の水玉もよう、
冬は灰色がかった茶色の毛にかわります。
オスには角があります。

ふん

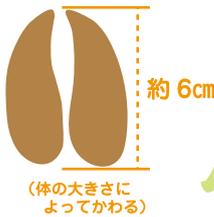
色は濃い茶色～黒色、
形はたわら型です。



シカより、まんまるで、
色がうすく、食べた植
物の繊維が目立ちます。

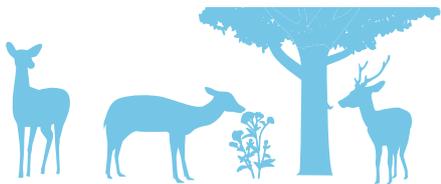
あしあと

泥や雪の上に、ひづめの
跡が残ります。



シカより、横幅が広く、
ぬかるんだ地面では
副蹄の跡が残ります。

日本の自然で起きていること



江戸～明治時代にかけて積極的に狩猟がおこなわれた結果、シカは減少傾向にありました。しかし、その後の保護政策によって、少しずつ増加して分布を広げてきたシカは、農林業被害を起こすようになりました。20年ほど前からは、日本各地のシカが増えた森林内で自然の植物が食べ尽くされ、生態系に強い影響を出していることが報告されています。

箱根にシカはいなかった?

明治以来の乱獲によって箱根地域からシカの姿は消えていました。その後、伊豆半島の一部に生き残った集団と、富士山・丹沢方面に生き残った集団が増加したことにより、1990年あたりから箱根にシカの姿が見られるようになりました。

シカが増えてはいけないの?

シカが分布を回復することはいいことではありません。しかし、シカが高い密度になると、農作物や造林木が食べられる被害が発生するばかりでなく、森林が食べ尽くされてしまいます。

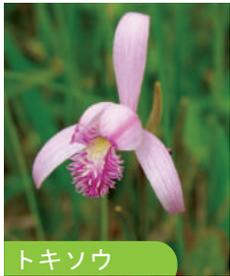


箱根地域には神奈川県唯一の湿原である「仙石原湿原」があり、様々な動植物が生息しています。箱根地域のシカの出没状況や植生への影響をモニタリングしながら、手遅れにならないように対策をとっていきます。

箱根の植物

仙石原湿原や森林の中には、希少性の高い植物が見られます。

仙石原



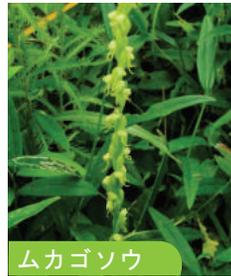
トキノウ



ミズチドリ



ミズトンボ



ムカゴソウ



オグルマ



マメ知識 湿原とは：過湿な土壌で形成される草原のこと。その特異な環境により、様々な動植物の大切なすみかとなっています。

シカを見たら、こちらまで！

「姿を見たよ！」や「フンや足跡を発見したよ！」という方は、ぜひ情報をお寄せください。

ウェブで入力

箱根ビジターセンター

<http://hakonevc.sunnyday.jp/>

項目にチェックを入れるだけの簡単なサイトです。お気軽にアクセスください。

QRコード



ファックスで送信

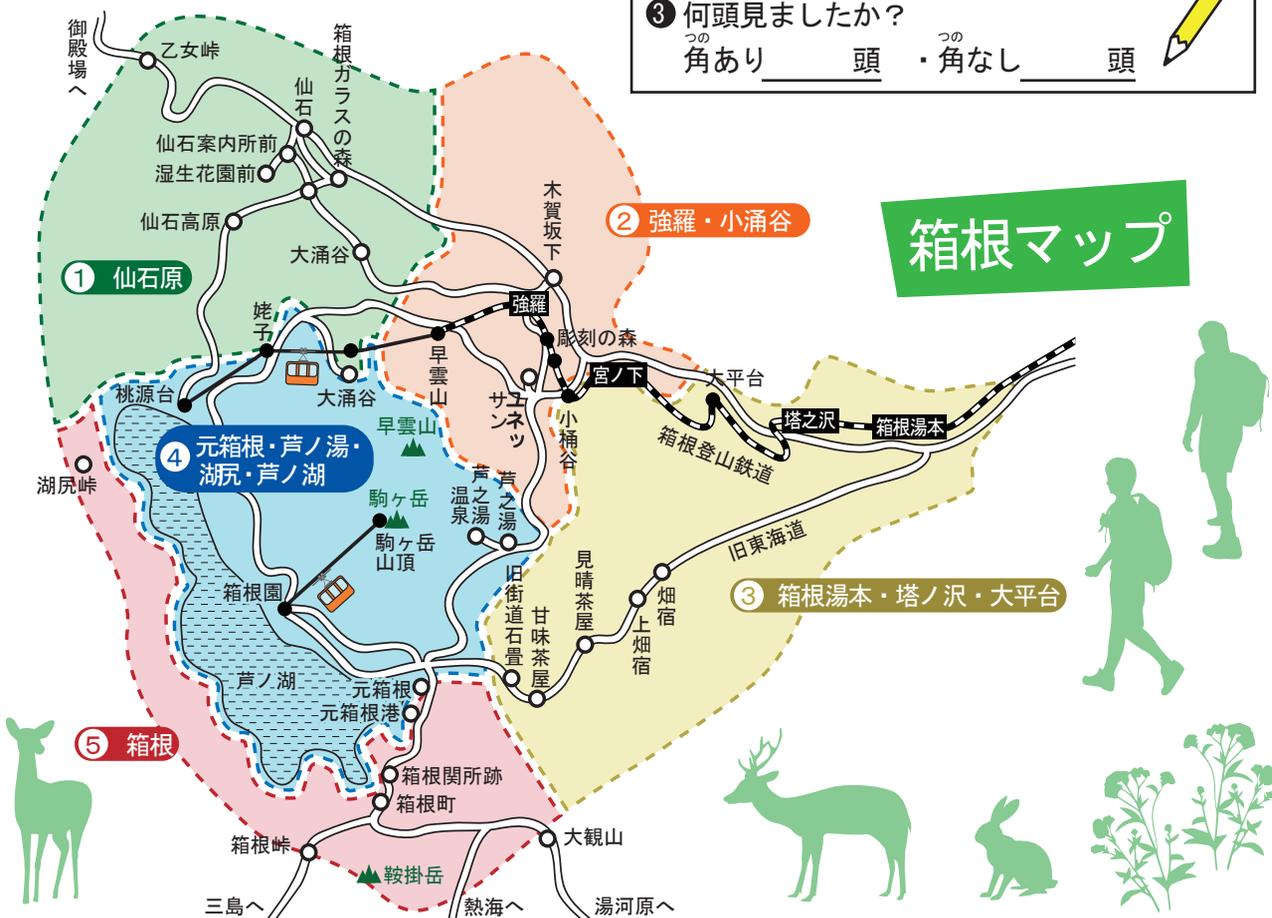
下記に目撃記録を記入して、そのままFAXでお送りください。

環境省 箱根ビジターセンター

FAX 0460-84-5721

- どこで、シカを見ましたか？
- それは、いつですか？
年 月 日 時 分 頃
- 何頭見ましたか？
角あり 頭 ・ 角なし 頭

下の地図に書き込んでください。



主催

環境省 箱根自然環境事務所
〒250-0522
神奈川県足柄下郡箱根町元箱根 164

問合せ先
事務局

環境省 箱根ビジターセンター
〒250-0522
神奈川県足柄下郡箱根町元箱根164
TEL 0460-84-5720 FAX 0460-84-5721